

～産直産地と共に再生可能エネルギーの創出を推進～
 たこまち
 多古町旬の味産直センターの『自然エネルギー産直』に協力
 太陽光パネルの設置に向けて、役職員、組合員へ参加を募ります

コープデリ連合会（本部：埼玉県さいたま市、理事長：土屋 敏夫、会員生協：関東信越の7生協）は、農事組合法人 多古町旬の味産直センター（本部：千葉県香取郡多古町、代表理事：高橋 清）が取り組む『自然エネルギー産直』に協力し、3月11日（月）から役職員、組合員を対象に、同センターの太陽光発電設備の設置に向けた参加者の募集を行います。

『自然エネルギー産直』は、日本の農業を守りながら化石燃料や原発に頼らない自然エネルギーを推進する取り組みです。今回は、コープみらいの組合員および、コープみらい・コープデリの役職員を対象に新たな太陽光パネルを設置するための資金（3万円コース・5万円コース、目標総額1,550万円）を募り、発電設備の設置を進め、2019年8月頃に発電を開始する予定です。発電された電気は、株式会社地球クラブを通じて『コープデリでんき』のFIT電気メニュー（再生可能エネルギーで発電されたFIT電気を80%使用）、事業所等施設の電源の一部として活用されます。また、参加者には多古町旬の味産直センターから農産物（野菜やお米）の産直品が、毎年1回、10年間にわたり送られます。

多古町旬の味産直センターは、多くの農産物をコープデリの店舗や宅配サービスで取り扱っている産直産地のひとつです。コープデリグループでは、農産物だけでなく、電気においても「地産地消」を広げ、日本の農業を守るとともに、自然エネルギーの活用を推進してまいります。

●多古町旬の味産直センター『自然エネルギー産直』概要

募集期間：2019年3月11日（月）～2019年5月25日（土）※目標総額に到達し次第、終了

募集コース：3万円コース、5万円コース

対 象：コープみらいの組合員、コープみらい・コープデリ連合会の役職員

特 典：旬の野菜詰合せ（3万円コース）／旬の野菜詰合せ、米、加工品等（5万円コース）

※10年間（全10回）、毎年12月に多古町旬の味産直センターより送付

目標総額：1,550万円（300～500名の参加を想定）

<発電設備について>

- ・設置場所：多古町旬の味産直センター（千葉県香取郡多古町次浦）内、サポートセンター（人参貯蔵庫パック工場）屋根（太陽光パネルの設置）

- ・設備容量：71.5kw

- ・スケジュール：2019年6月中旬より設置工事開始（予定）、8月以降発電開始（予定）

※多古町旬の味産直センター「自然エネルギー産直」について URL：http://tako-syun.or.jp/test_Power.html



『SDGs』の目標7

全ての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する

コープデリ連合会と会員生協は、2015年に国連で採択された17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標（SDGs）」の実現に、事業と活動を通して貢献します。

《コープデリ生活協同組合連合会 概要》

- 【住 所】埼玉県さいたま市南区根岸1-4-13
- 【総事業高】5,428億円（会員生協計・2017年度）
- 【理事長】土屋 敏夫（つちや としお）
- 【ホームページ】<https://www.coopnet.jp/>
- 【組合員数】484万人（2019年1月20日現在）
- 【会員生協】コープみらい、いばらきコープ、とちぎコープ、コープぐんま、コープながの、コープにいがた、コープクルコ